

歯科矯正学

責任者・コーディネーター	(口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野) 佐藤 和朗 教授				
担当講座 (分野)	口腔保健育成学講座 (歯科矯正学分野)				
対象学年	4	区分・時間数	講義/演習	実習	
期間	通期		前期	28.0時間	—
			後期	42.0時間	42.0時間

学修方針 (講義概要等)

歯科矯正学では、乳歯列期、混合歯列期、永久歯列期を問わず、成長発育期を通じた各時期の基本的な知識、検査診断法、治療法を学修するとともに、歯科学生に必要な最新の基礎知識や臨床知識について、問題志向型の教育を取り入れながら学修する。

教育成果 (アウトカム)

講義：成長発育、歯列咬合、不正咬合の診査・診断・治療について系統的に講義を行うことにより、成長発達期および成人期における歯科医療、矯正歯科治療を実践できる医療プロフェッショナルの基盤を形成することができる。

実習：矯正歯科での治療法を学ぶことで知識・技術が身につく。実習中の教員との関りや口頭試問を経験することで良好なコミュニケーションスキルが学修できる。また、症例分析や症例検討会等のグループ作業により周囲と協調することの重要性を認識することで、将来の歯科医師として、自己のあるべき態度に気付くことができる。

(関連するディプロマポリシー：1～6、8、9)

到達目標 (SB0s)

1. 歯科矯正学の目的と矯正歯科治療の必要性を説明できる。
2. 身体の成長発育、歯列・咬合の発育を説明できる。
3. 不正咬合の種類、原因と治療法を列記できる。

事前事後学修の具体的内容及び時間

シラバスに記載されている各回到達目標の内容に関し、教科書や講義ノート、Webclass資料等を用いて事前学修 (予習) を行うものとし、各授業最低30分以上を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。各授業に特記された事前学修項目がある場合は、その内容に従うものとする。授業や実習においてレポートが課された場合は、提出後、評価の上返却する。

(事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均45分を要する)

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/10 (金)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	歯科矯正学概論 学習内容と歯科医学における歯科矯正学の役割を理解する。	1. 歯科矯正学の目的について説明できる。 2. 歯科矯正学の成り立ちについて説明できる。 3. 歯科矯正学の役割について説明できる。 [D-5-5-1]
講義	4/17 (金)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	正常咬合と不正咬合について 正常咬合の概念と不正咬合について理解する。	1. 正常咬合の概念を説明できる。 2. 正常咬合が成立し保持される条件を説明できる。 3. 歯列と咬合について説明できる。 4. 不正咬合の客観的な表現方法を説明できる。 [D-5-5-1]
講義	4/24 (金)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	Angle I, II, III級症例の診断と治療 不正咬合分類の診断と治療方法について理解する。	1. Angle I, II, III級の症状を説明できる。 2. Angle I, II, III級の原因を説明できる。 3. Angle I, II, III級による障害を列挙できる。 4. Angle I, II, III級の治療方法を列挙できる。 [D-5-5-1]
講義	5/1 (金)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	頭蓋顎顔面と全身の成長発育 頭蓋顎顔面と全身の成長発育について理解する。	1. 脳頭蓋の成長発育を説明できる。 2. 顔面頭蓋の成長発育を説明できる。 3. 成長の評価について説明できる。 4. 全身成長と頭蓋顎顔面の関連について説明できる。 [A-2-2-1、A-2-4-1、A-2-4-5、A-3-1-2-1~4]
講義	5/15 (金)	2	飯塚康之助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正歯科治療における診断用模型の分析 矯正歯科治療における診断用模型の分析の意義・分析法について理解する。	1. 模型分析の意義を説明できる。 2. 咬合分類について説明できる。 3. 上下顎の咬合状態を説明できる。 4. 計測項目を説明できる。 [D-5-5-3]
講義	5/22 (金)	2	飯塚康之助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	エックス線診査と分析 I 頭部エックス線規格(セファロ)写真と機能分析について理解する。	1. 頭部エックス線規格(セファロ)写真の分析と評価ができる。 2. 各種機能検査について説明できる。 [D-5-5-3]
講義	5/29 (金)	2	飯塚康之助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	エックス線診査と分析 II 頭部エックス線規格(セファロ)写真と機能分析について理解する。	1. 頭部エックス線規格(セファロ)写真の分析と評価ができる。 2. 各種機能検査について説明できる。 [D-5-5-3]

演習	6/5 (金)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正歯科臨床における 診断学/診断・治療計画 の立案 I-1 矯正歯科臨床における 診断の特徴と目的につ いて理解する。	1. 診断に対する基本的理念を説明 できる。 2. 矯正歯科臨床における診断の特 徴と目的を説明できる。 3. 矯正歯科臨床に必要な医療面接 と診療に対する具体的な方法を説明 できる。 4. 医療面接と診療から得られた情 報を診断に反映できる。 [D-5-5-3]
演習	6/12 (金)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	診断・治療計画の立案 I-2 (症例分析演習) 診察・検査・分析によ り得られるデータを統 合し、症例の治療目 標・計画および予後 を設定することができる ようになる。	1. 口腔内や顔貌の診察・評価方法 を説明できる。 2. 模型分析の意義と内容が説明で きる。 3. エックス線分析の意義と内容が 説明できる。 4. 治療目標を設定できる。 5. 治療計画の立案ができる。 6. 予後を推定できる。 [D-5-5-3]
講義	6/19 (金)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正力と顎整形力 矯正力と顎整形力につ いて理解する。	1. 矯正力の種類を列挙できる。 2. 矯正力の大きさを分類できる。 3. 矯正力の作用様式を説明でき る。 4. 矯正歯科治療に必要な力学を説 明できる。 [D-5-5-3]
演習	6/26 (金)	2	石崎 明教授 (生化学講座 細胞情 報科学分野) 佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正力による生体反応/ 偶発症 矯正歯科治療によっ て起こる生体反応につ いて理解する。	1. 矯正力による歯、歯周組織の反 応を説明できる。 2. 歯の移動に伴う骨改造について 説明できる。 3. 適切な矯正力による生体反応の 評価を説明できる。 4. 矯正歯科治療により起こる生体 の反応を細胞あるいは分子生物学的 に説明できる。 5. 矯正歯科治療によって生じる 医原性障害を挙げ、その予防法と処 置を説明できる。 [A-1-5-2、D-5-5-5]
講義	7/3 (金)	2	武本真治教授 (医療工学講座) 佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正用材料・接着材 矯正材料と理工学的性 質について理解する。	1. 矯正歯科臨床の材料として具備 すべき条件を説明できる。 2. 各種線材料の機械的特性を説明 できる。 3. 接着材の材料特性と接着機構を 説明できる。 [B-1-2、B-1-3、B-2-4]
講義	7/10 (金)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	不正咬合の原因 I 先天的原因 不正咬合を引き起こす 様々な先天的原因につ いて理解する。	1. 先天的原因と後天的原因の違い について説明できる。 2. 先天異常により生じる不正咬合 および口腔内所見の異常について説 明できる。 3. 不正咬合の原因となる事項を列 挙できる。 [D-5-5-3]

講義	7/17 (金)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	不正咬合の原因Ⅱ 後天的原因 不正咬合の予防 不正咬合を引き起こす様々な後天的原因と不正咬合の予防について理解する。	1. 先天的原因と後天的原因の違いについて説明できる。 2. 先天異常により生じる不正咬合および口腔内所見の異常について説明できる。 3. 不正咬合の原因となる事項を列挙できる。 4. 予防矯正と抑制矯正の概念が説明できる。 5. 不正咬合の原因と結び付けてその予防法を説明できる。 [D-5-5-3]
講義	9/15 (火)	1	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	抜歯と固定Ⅰ 矯正歯科治療における抜歯と固定の必要性を理解する。	1. 抜歯の目的、適応症について説明できる。 2. 適切な抜歯部位を選択できる。 3. 抜歯の判定基準を理解し説明できる。 4. 連続抜去法について説明できる。 5. 固定の概念と種類を説明できる。 [D-5-5-3]
講義	9/15 (火)	2	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	抜歯と固定Ⅱ 矯正歯科治療における抜歯と固定の必要性を理解する。	1. 抜歯の目的、適応症について説明できる。 2. 適切な抜歯部位を選択できる。 3. 抜歯の判定基準を理解し説明できる。 4. 連続抜去法について説明できる。 5. 固定の概念と種類を説明できる。 [D-5-5-3]
講義	9/15 (火)	3	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正装置① 器械的矯正装置Ⅰ 器械的矯正装置の種類、構造、特徴について理解する。	1. 器械的矯正装置の基本的条件および分類について説明できる。 2. 器械的矯正装置の構造を説明できる。 3. 器械的矯正装置の力系を説明できる。 4. 各装置の使用目的を説明できる。 [D-5-5-4]
講義	9/15 (火)	4	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正装置① 器械的矯正装置Ⅱ 器械的矯正装置の種類、構造、特徴について理解する。	1. 器械的矯正装置の基本的条件および分類について説明できる。 2. 器械的矯正装置の構造を説明できる。 3. 器械的矯正装置の力系を説明できる。 4. 各装置の使用目的を説明できる。 [D-5-5-4]
講義	9/29 (火)	1	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正装置② 機能的矯正装置Ⅰ 機能的矯正装置の種類、構造、特徴について理解する。	1. 機能的矯正装置の基本的条件について説明できる。 2. 機能的矯正装置の構造を説明できる。 3. 機能的矯正装置の力系を説明できる。 4. 各装置の使用目的を説明できる。 [D-5-5-4]

講義	9/29 (火)	2	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正装置② 機能的矯正装置Ⅱ 機能的矯正装置の種類、構造、特徴について理解する。	1. 機能的矯正装置の基本的条件について説明できる。 2. 機能的矯正装置の構造を説明できる。 3. 機能的矯正装置の力系を説明できる。 4. 各装置の使用目的を説明できる。 [D-5-5-4]
講義	9/29 (火)	3	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正歯科治療に必要な器械・器具 矯正歯科治療を行う際に必要な器械・器具の使用目的、使用方法を理解する。	1. 矯正歯科治療に用いる器械・器具を列挙できる。 2. 矯正歯科治療に用いる器械・器具の使用目的、名称および使用法を説明できる。 [D-5-5-4]
講義	9/29 (火)	4	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正装置③ マルチブラケット装置 マルチブラケット装置について理解する。	1. マルチブラケット装置を使用する目的を説明できる。 2. マルチブラケット装置を構成している各名称を列挙できる。 3. ブラケットの特徴を説明できる。 4. エッジワイズ法の基本手技を説明できる。 5. アーチワイヤーの屈曲について説明できる。 [D-5-5-4]
講義	10/6 (火)	1	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正装置④/保定 その他の装置/保定と保定装置 その他の矯正装置の種類、構造、特徴について説明できるようになる。さらに移動後の保定の必要性や後戻りについて理解する。	1. その他の矯正装置を列挙できる。 2. その他の矯正装置の構造を説明できる。 3. その他の矯正装置の力系を説明できる。 4. 保定の概念と種類を説明できる。 5. 保定期間について説明できる。 6. 不正咬合の再発および防止策について説明できる。 [D-5-5-4]
講義	10/6 (火)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	診断・治療計画の立案Ⅱ (症例分析演習) 診察・検査・分析により得られるデータを統合し、症例の治療目標・計画および予後を設定することができるようになる。	1. 口腔内や顔貌の診察・評価方法を説明できる。 2. 模型分析の意義と内容が説明できる。 3. エックス線分析の意義と内容が説明できる。 4. 治療目標を設定できる。治療計画の立案ができる。 5. 予後を推定できる。 [D-5-5-3]

講義	10/6 (火)	3	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	診断・治療計画の立案Ⅲ (症例分析演習) 診察・検査・分析により得られるデータを統合し、症例の治療目標・計画および予後を設定することができるようになる。	1. 口腔内や顔貌の診察・評価方法を説明できる。 2. 模型分析の意義と内容が説明できる。 3. エックス線分析の意義と内容が説明できる。 4. 治療目標を設定できる。治療計画の立案ができる。 5. 予後を推定できる。 [D-5-5-3]
講義	10/6 (火)	4	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	上顎前突、過蓋咬合の治療 上顎前突と過蓋咬合の原因とその障害を認識し、それらの診断と治療計画、治療方法について説明できるようになる。	1. 上顎前突、過蓋咬合の症状を概説できる。 2. 上顎前突、過蓋咬合の原因を列挙できる。 3. 上顎前突、過蓋咬合による障害を列挙できる。 4. 上顎前突、過蓋咬合の治療に使用する装置を列挙できる。 5. 上顎前突、過蓋咬合の治療計画を年齢に応じて立案できる。 [D-5-5-3]
講義	10/20 (火)	1	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	開咬の治療 開咬の原因とその障害を認識し、開咬の診断と治療計画、治療方法について説明できるようになる。	1. 開咬の症状を概説できる。 2. 開咬の原因を列挙できる。 3. 開咬による障害を列挙できる。 4. 開咬の治療に使用する装置を列挙できる。 開咬の治療計画を年齢に応じて立案できる。 [D-5-5-3]
講義	10/20 (火)	2	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	叢生の治療 叢生の原因とその障害を理解し、それらの診断と治療計画、治療方法について説明できるようになる。	1. 叢生の症状を概説できる。 2. 叢生の原因を列挙できる。 3. 叢生の障害を列挙できる。 4. 叢生に使用する装置を列挙できる。 5. ディスクレパンシー要因の症例に対する治療法を理解している。 6. 年齢に応じた叢生の治療計画を立案できる。 [D-5-5-3]
講義	10/27 (火)	1	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	上下顎前突の治療 上下顎前突の原因とその障害を理解し、それらの診断と治療計画、治療方法について説明できるようになる。	1. 上下顎前突の症状を概説できる。 2. 上下顎前突の原因を列挙できる。 3. 上下顎前突の障害を列挙できる。 4. 上下顎前突治療に使用する装置を列挙できる。 5. 年齢に応じた上下顎前突の治療計画を立案できる。 [D-5-5-3]

講義	10/27 (火)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	反対咬合の治療 反対咬合の原因とその障害を認識し、反対咬合の診断と治療計画、治療方法について説明できるようになる。	1. 反対咬合の症状を概説できる。 2. 反対咬合の原因を列挙できる。 3. 反対咬合による障害を列挙できる。 4. 反対咬合の治療に使用する装置を列挙できる。 5. 反対咬合の治療計画を年齢に応じて立案できる。 [D-5-5-3]
講義	11/10 (火)	1	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	顎変形症の治療 顎変形症の原因と概要、治療方針について説明できるようになる。	1. 顎変形症を概説できる。 2. 顎変形症の原因を説明できる。 3. 顎変形症に対する外科的矯正治療のプロセスについて説明できる。 4. 顎変形症の術前、術後の矯正歯科治療について説明できる。 5. 顎変形症に対する手術法を列挙できる。 [D-3-1-1-3]
講義	11/17 (火)	1	飯塚康之助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	交叉咬合の治療 交叉咬合の原因とその障害を認識し、交叉咬合の診断と治療計画、治療方法について説明できるようになる。	1. 交叉咬合の症状を概説できる。 2. 交叉咬合の原因を列挙できる。 3. 交叉咬合による障害を列挙できる。 4. 交叉咬合の治療に使用する装置を列挙できる。 5. 交叉咬合の治療計画を年齢に応じて立案できる。 [D-5-5-3]
講義	11/24 (火)	1	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	睡眠時無呼吸症候群の歯科的治療 睡眠時無呼吸症候群の病態と歯科的治療方針について理解する。	1. 睡眠時無呼吸症候群の症状を説明できる。 2. 睡眠時無呼吸症候群の特徴を説明できる。 3. 睡眠時無呼吸症候群の歯科的な対応法について説明できる。 [D-3-1-11-6]
講義	12/1 (火)	1	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	口唇裂・口蓋裂の矯正歯科治療、構音と鼻咽腔閉鎖不全 I 口唇裂・口蓋裂の病態と構音・鼻咽腔閉鎖不全について説明できるようになる。	1. 上口唇の発生と唇裂の発生機序について説明できる。 2. 顎裂・口蓋裂の発生機序について説明できる。 3. 口唇裂・口蓋裂が引き起こす咬合異常について説明できる。 4. 口唇裂・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 [D-3-1-1-1、D-3-1-1-2]
講義	12/8 (火)	1	桑島幸紀准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	口唇裂・口蓋裂の矯正歯科治療、構音と鼻咽腔閉鎖不全 II 口唇裂・口蓋裂の病態と構音・鼻咽腔閉鎖不全について説明できるようになる。	1. 上口唇の発生と唇裂の発生機序について説明できる。 2. 顎裂・口蓋裂の発生機序について説明できる。 3. 口唇裂・口蓋裂が引き起こす咬合異常について説明できる。 4. 口唇裂・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 [D-3-1-1-1、D-3-1-1-2] *コースアンケート実施

実習日程表

実習	10/20 (火)	3 4 5	佐藤和朗教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 浅沼莞奈助教 深澤慶子助教 上田 茜助教 吉田弘法助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	症例分析と診断① 与えられた2課題の資料について、説明、計測、分析を実施することで、診断、治療計画の立案ができるようになる。	症例の以下の項目について説明、計測、分析または実施できる。 1. 主訴、家族歴、既往歴、現症歴、現症 2. 咬合分類および上下顎の咬合状態 3. 歯列弓の形態、歯の位置異常 4. 歯冠幅径、歯列弓の幅径と長径 5. 歯槽基底部の幅径と長径 6. OverjetおよびOverbite 7. Arch length discrepancy 8. Tooth size ratio 9. 側面頭部エックス線規格写真の透写 (tracing) 10. 計測点の設定 11. 計測用基準平面の設定 12. 角度的、量的、図示的計測 13. Tweedの分析とその所見 これらの資料をもとに治療計画の立案ができる。 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5, 6, E-5-4-1]
実習	10/27 (火)	3 4 5	佐藤和朗教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 浅沼莞奈助教 深澤慶子助教 上田 茜助教 吉田弘法助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	症例分析と診断② 与えられた2課題の資料について、説明、計測、分析を実施することで、診断、治療計画の立案ができるようになる。	症例の以下の項目について説明、計測、分析または実施できる。 1. 主訴、家族歴、既往歴、現症歴、現症 2. 咬合分類および上下顎の咬合状態 3. 歯列弓の形態、歯の位置異常 4. 歯冠幅径、歯列弓の幅径と長径 5. 歯槽基底部の幅径と長径 6. OverjetおよびOverbite 7. Arch length discrepancy 8. Tooth size ratio 9. 側面頭部エックス線規格写真の透写 (tracing) 10. 計測点の設定 11. 計測用基準平面の設定 12. 角度的、量的、図示的計測 13. Tweedの分析とその所見 これらの資料をもとに治療計画の立案ができる。 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5, 6, E-5-4-1]

実習	11/10 (火)	2 3 4	佐藤和朗教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 浅沼莞奈助教 深澤慶子助教 上田 茜助教 吉田弘法助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	症例分析と診断③ 与えられた課題資料について、説明、計測、分析を実施することで、診断、治療計画の立案ができるようになる。	症例の以下の項目について説明、計測、分析または実施できる。 1. 主訴、家族歴、既往歴、現症歴、現症 2. 咬合分類および上下顎の咬合状態 3. 歯列弓の形態、歯の位置異常 4. 歯冠幅径、歯列弓の幅径と長径 5. 歯槽基底部の幅径と長径 6. OverjetおよびOverbite 7. Arch length discrepancy 8. Tooth size ratio 9. 側面頭部エックス線規格写真の透写 (tracing) 10. 計測点の設定 11. 計測用基準平面の設定 12. 角度的、量的、図示的計測 13. Tweedの分析とその所見 これらの資料をもとに治療計画の立案ができる。 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5, 6, E-5-4-1]
実習	11/17 (火)	2 3 4	佐藤和朗教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 浅沼莞奈助教 深澤慶子助教 上田 茜助教 吉田弘法助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	ダイレクトボンディング① (タイポドント実習) ダイレクトボンディング法によるブラケットの装着とワイヤー装着を実施することで歯の移動のメカニズムが説明できるようになる。	以下の項目について説明または実施できる。 1. マルチブラケット装置の構造 2. ブラケットポジションの設定 3. ダイレクトボンディング法によるブラケットの装着 4. 歯の移動状態の観察と移動のメカニズムの考察 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5]
実習	11/24 (火)	2 3 4	佐藤和朗教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 浅沼莞奈助教 深澤慶子助教 上田 茜助教 吉田弘法助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	ダイレクトボンディング② (タイポドント実習) ダイレクトボンディング法によるブラケットの装着とワイヤー装着を実施することで歯の移動のメカニズムが説明できるようになる。	以下の項目について説明または実施できる。 1. マルチブラケット装置の構造 2. ブラケットポジションの設定 3. ダイレクトボンディング法によるブラケットの装着 4. 歯の移動状態の観察と移動のメカニズムの考察 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5]
実習	12/1 (火)	2 3 4	佐藤和朗教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 浅沼莞奈助教 深澤慶子助教 上田 茜助教 吉田弘法助教 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	ダイレクトボンディング③ (タイポドント実習) ダイレクトボンディング法によるブラケットの装着とワイヤー装着を実施することで歯の移動のメカニズムが説明できるようになる。	以下の項目について説明または実施できる。 1. マルチブラケット装置の構造 2. ブラケットポジションの設定 3. ダイレクトボンディング法によるブラケットの装着 4. 歯の移動状態の観察と移動のメカニズムの考察 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5]

実習	12/8 (火)	2 3 4	佐藤和朗教授 桑島幸紀准教授 飯塚康之助教 菊池恵美子助教 浅沼莞奈助教 深澤慶子助教 上田 茜助教 吉田弘法助教 (口腔保健育成学講 座 歯科矯正学分野)	症例検討会 (1階SGL使用) 具体的な治療計画を立案し、発表できるようになる。	1. 適切な治療計画を立案できる。 2. 症例の概要を適切に説明できる。 3. 治療計画を説明できる。 4. 適切に質疑に答えることができる。 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5] 事前学習：立案した治療計画のプレゼンテーションの仕方を考える。
----	-------------	-------------	---	--	---

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	歯科矯正学 第7版	後藤滋己、齋藤 功 他編	医歯薬出版	2024年
参	矯正歯科臨床ヒント集 (カラーアトラスハンドブック)	三浦廣行、葛西一貴、氷室利彦編	クインテッセンス出版	2004年
参	混合歯列期の矯正歯科治療	後藤滋己ほか編	医歯薬出版	2002年
推	プロフィットの現代歯科矯正学 新版	William R. Proffit 著、高田健治訳	クインテッセンス出版	2004年

成績評価方法・基準・配点割合等

講義 (65点以上を合格)

定期試験 80% (前期:40%、後期:40%)

プレポストテスト 20%

プレポストテストについては、講義やWebClassを通して解説を行う。

実習 (65点以上を合格)

実習試験 70%

(実習試験は記述及び選択問題形式とする)

実習レポート 30%

実習レポートについては、5段階(A~E)評価とし、E評価は不合格とする。実習レポート返却時に個別にコメントする。

講義、実習のいずれとも合格したものを合格とする。

合格点に満たなかった場合、再試験を行う。

到達目標	DP	講義			合計
		前期試験	後期試験	プレポスト	
1	4、6	10	2	3	15
2	4	8	3	3	14
3	4	2	15	4	21
合計		20	20	10	50

実習		
実習試験	レポート	合計
5	5	10
10	5	15
20	5	25
35	15	50

特記事項・その他 (試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等)

各講義・実習ではグループワークを取り入れ、伝える力の強化を図るとともに、必要に応じ各講義・実習時間内に講義・実習内容に関して担当教員とのディスカッションを行う。講義資料は必要に応じてWebClassにアップする。

各学生は事前学習教材を事前に予習した上で、各講義・演習および解説講義に臨むこと。講義終了後は、教科書や事前学習教材を利用し事後学習を必ず行うこと。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有 (大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う)

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
デスクトップパソコン・一式	1	視聴覚用機器	実習(講義)の資料作成
カラーレーザープリンタ	1	視聴覚用機器	実習(講義)の資料印刷
ノートパソコン・一式	1	視聴覚用機器	実習(講義)の資料提示